



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>

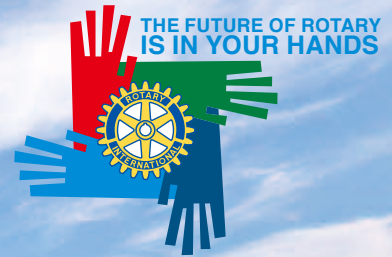


3

2010, March

第1848回例会

平成22年3月4日



ロータリーの未来は
あなたの手に

【メンゲル会長（コペンハーゲンRC会長）とバナー交換】



会長	深澤 知博	広報副委員長	高田 晃一
副会長	田中 利昭	委員	日崎 清二
副会長	大友 広明	委員	横山 明美
幹事	山本 範之	委員	大須賀真太郎
会計	本田美喜男	委員	八代 信弘
S A A	北川 勝啓	委員	小谷 典之
広報委員長	堂山 啓太	委員	熊切 宏樹

**エコキャップの回収に
協力して下さい**
世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

■会長報告

会長 深澤 知博



皆さんこんにちは。約一ヶ月ぶりの北海道ホテルでの例会ですが、久々に家に帰ってきたような感じがします。

先日、いよいよ新政権での予算案が衆議院で可決しました。政権公約マニフェストの目玉であり、子供手当給付、高校無償化、高速道路無料化などですが、財源として新規国債発行44兆3000億円という借金をしてのスタートとなりました。これらの政策が今後、最悪の今の経済状況にいい方向で生かされることを祈る思いです。

さて、3月は識字率向上月間で、ロータリーでは1986年から取り組んでいる強調事項であります。世界で9億人以上の人は読み書きが出来ません。地域の識字水準がその地域の生活水準に直結するという観点から、読み書きや計算が出来るようにロータリーは既存のプログラムを通して識字率向上に取り組んでいます。

RIは現在、世界的な識字推進団体・国際読書協会と協力しあい、世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを開発中だということです。

日本では考えられないことですが、世界ではまだまだ字が読めない、計算が出来ない人がいるのだとわかり、ロータリーとして世界規模で取り組んでいるということに、私たちロータリー会員として非常に誇りになることではないでしょうか。そして、この地域に私たちが出来る奉仕を探すことも必要なことではないかと思えます。

それからひとつ残念な報告があります。先月、臨時理事会で森会員が一身上の理由ということで退会を承認しました。非常に残念ですが報告させていただきます。

以上会長報告とさせていただきます。

たいまつ宣言

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

■出席状況報告

月/日	12/3	12/10	12/17	12/24
例会	1837回	1838回	1839回	1840回
会員総数	69名	69名	69名	69名
出席計算に用いた会員数	61名	61名	61名	61名
ホームクラブ出席	56名	52名	49名	44名
メイクアップ	12名	18名	6名	10名
出席率	91.8%	85.2%	90.1%	88.5%
月平均	88.9%			

■今月の主な行事

- 3月 4日 誕生・結婚祝
- 11日
- 18日
- 25日 夜間例会



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

点鐘 深澤知博会長
 開会宣言 若林剛SAA
 国歌斉唱 若林剛SAA
 ロータリーソング(四つのテスト) 若林剛SAA
 たいまつ宣言唱和 若林剛SAA
 米山記念奨学生 アロアロ・マルコス・フォアン君
 3月結婚祝 親睦活動委員会 上垣香世子委員

川 上 哲 平 会員 1934.3.20
 柴 田 和 明 会員 1936.3.30
 奥 田 頼 昌 会員 1977.3.12
 山 本 範 之 会員 1978.3.27
 齊 藤 憲 生 会員 1982.3.27
 小 谷 典 之 会員 1988.3.27
 大須賀 眞太郎 会員 1994.3.12
 堂 山 啓 太 会員 2000.3.11

3月誕生祝

井 上 昭 次 会員 1927.3. 4
 小 室 陸 雄 会員 1930.3. 4
 川 上 哲 平 会員 1934.3.20
 柴 田 和 明 会員 1936.3.30
 佐々木 和 彦 会員 1957.3.10

パースデーソング

乾杯 田中利昭副会長

(会食)
 会長報告 深澤知博会長
 会務報告 山本範之幹事

①帯広RC、夜間例会開催のお知らせ
 (創立75周年記念例会)

日 時 3月10日(水) 午後6時
 場 所 ホテル日航ノースランド帯広

②帯広北RC・帯広東RC・音更RC合同夜間例会開催のお知らせ

日 時 3月19日(金) 午後6時30分
 場 所 ホテル日航ノースランド帯広

③帯広南RC、3月22日(月)は祝日のため休会と致します。

④帯広東RC、3月23日(火)は休会と致します。

⑤帯広西RC、夜間例会開催のお知らせ

日 時 3月25日(木) 午後6時30分
 場 所 北海道ホテル

⑥例会終了後、定例理事会を開催します。

米山奨学生終了証贈呈 理事会
 米山奨学生カウンセラー感謝状贈呈 理事会
 次年度組織 鈴木享次年度会長
 次年度古田幹事を中心に進めていきます。

ガバナー事務局 茨木雅敏ガバナー事務局幹事

4月にはPETS、地区協議会があります。事務局に、中沢好栄さんを入れました。彼女は帯広柏葉卒、東京の日伊学院でイタリア語を勉強、前職は、(株)奉商に勤務しておりました。

国際奉仕理事報告 奥 敏則国際奉仕理事

全国ガバナー会から拉致被害者募金として10,100円を寄付しました。

ニコニコ献金 親睦活動委員会 上垣香世子委員
 横田幸宏会員 1年間マルコがお世話になりました。

萱場誠一会員 創立記念でご利用していただきまして有り難うございました。

北川勝啓会員 結婚祝いありがとうございました。
 小室陸雄会員 誕生日のお祝いありがとうございました。本日、満80才になりました。これからもどうぞよろしく。

井上昭次会員 今日はずバリ誕生日です。83才！
 神田龍一会員 HES(北海道環境マネジメントシステム)を取得し小島君の仲介もあり飯田君と大きく新聞に掲載されました。

飯田正行会員 HES認証されました。神田さんと大きく新聞に取り上げられました。

プログラム プログラム委員会 飯田正行委員長

青少年交換発祥の地デンマーク

RI2500地区国際青少年交換委員会

ロータリー青少年交換発祥の地、デンマークの首都、コペンハーゲンへ出発。地方都市から成田で国際便に乗る時の不便さ。出発前日に東京で一泊して、翌日早朝リムジンバスで成田空港



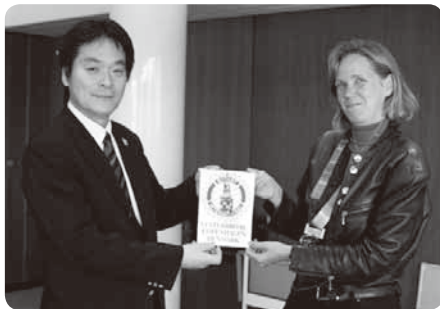
委員長 三野宮功様

に到着。羽田のハブ空港化の話は納得できます。直行便は価格の為断念。フランクフルト経由の便で出発。途中、大変恐ろしい経験と空港内を走って汗だくになる経験をさせていただきました。太陽を追いながらのフライトなので、途中からはブラインドを下ろして暗い機内での飛行。ふと目が覚めたので、機外を覗くとシベリア上空なのでしょう、10月下旬なのに下は氷と雪の世界でした。外は明るいが多分日本時間では深夜なのでしょう、知らず知らずのうちに寝てしまいました。ひどい揺れで目が覚めてしまい、液晶パネルで現在地を確認すると、バルト海上空を飛行しておりました。乱気流の中を飛行しているのは分かるのですが、シートベルトをしていないと間違いなく天井にたたきつけられる程の揺れでした。このまま落ちるのかなと思ったのは私ひとりではなかったと思います。陸上を飛行するルートまでには揺れも収まったみたいでした。夕闇迫るフランクフルト空港に無事到着。私の乗った便はこまで。コペンハーゲン行きの便に乗り換えです。EUへの入国検査と通関。乗り換えに際して再度セキュリティチェック。成田で買って来た寝酒用のウイスキーが持ち込み出来なくなり、目の前でゴミ箱行きになりました。ふと時計を見ると飛行機の出発15分前。私の便のゲートは、どこ？フランクフルト空港は広い！長い、長い地下道を走り抜けると、すでに出発5分前。私のゲートは全然見えません。これでは間違いなく取り残されると思い、途中のゲートにいた空港職員に私の便のゲートに向かっているの、出発を待つように伝えてくれと頼みました。やっと目的のゲートに着いた時はどうに出発時刻を過ぎておりました。汗だくになりながら搭乗すると、機内は一転のんびりムード。デンマーク語が飛び交っておりました。それから30分後にコペンハーゲンに向けて出発しました。

コペンハーゲン空港に着いたときは、現地時間の

午後8時過ぎでした。EU内なので、チェック無しで入国。空港からコペンハーゲン中央駅まで便利な直行列車が走っており、20分ほどで着きました。ホテルも中央駅から徒歩5分のところにあり大変便利でした。

翌日、昼、コペンハーゲン・ベスタブロ・ロータリークラブを訪問。コペンハーゲン中央駅の日と鼻の先にあるSASホテルが例会場でした。ヘラ・ムンク会長（女性）とは事前に連絡が取れておりましたが、緊張してホテルに到着。ホテルのスタッフからロータリアンの座っているロビーを教えてください、そこで自己紹介。例会開始時刻が迫ってきたので会場に移動。入り口でホテルのスタッフが食事代の集金をしていました。200クローネ（約3,600円）ほどを支払い、入場。食事代はその都度支払うのだと説明を受けました。なるほど、受益者負担は合理的です。幹事はロビーで報告書の作成をしているだけでした。勿論、例会メモなどは見当たりませんでした。さらに、会場にはSAAの姿すら見受けられませんでした。例会は司会も含め、進行は会長が一人で全て取り仕切っておりました。30余名ほどの会員を前にして、点鐘、会長挨拶の後、ゲスト、ビジターの紹介。私のビジター紹介の時、バナー交換と日本からスーツケースに入れて運んできたお土産の日本酒を会長さんに渡しました。このお土産が、私とクラブメンバーの距離を一気に縮めたみたいでした。私に簡単なスピーチをするようにいわれ、訪問の目的、2500地区の所在地など話させていただきました。テーブルには食事のスモア・プロ（北欧風オープンサンドイッチ）、昼なのにビール、ソフトドリンクなどが並んでおりました。急遽、ホテルにお願いをしてショットグラスを用意してもらい、会員の皆さんに日本酒を飲んでもらうことになりました。『He's a jolly good fellow.』の合唱の後、乾杯（スコール）をしていただき、和やかなムードになりました。ムンク会長には、日本から持参した海外へのお土産用のロータリーピンバッジ（すし盛り合わせロータリーロゴ付）を渡しましたが、このバッジもかなり評判が良かったです。



ムンク会長（コペンハーゲン・ベスタブロRC）とバナー交換

3分ほどの会員卓話を2名行われた後にゲスト卓話になりました。幸運なことに、苛酷な環境下のマラソンを世界中でチャレンジしているヘンリック・ブラント氏の講演でした。氷と岩の国、グリーンランドを走破した話。万里の長城をデンマーク人500人の団体で駆け抜けた話など、興味深く聞かせていただきました。勿論、卓話はデンマーク語でし



ヘンリック・ブラント氏

たが、私のデンマーク語はまだ頭の隅に残っていたみたいで、概略は理解できました。

翌日、10月28日（水）午後12時は、訪問最大の目的「ロータリー青少年交換プログラム発祥のコペンハーゲン・ロータリークラブ（ニールス・メンゲル会長）」訪問です。時差ボケのおかげで早朝に起きてしまったので、例会場に向かってコペンハーゲン市内を長時間散歩しました。ホテルから中央駅の前を通り、チボリ公園を通り過ぎ、コペンハーゲン市役所広場に到着。市役所の建物の横に童話作家のアンデルセンの大きな像を見ながら、中心街の長い歩行者天国を抜けて、王立劇場のあるコンゲンス・ニュートーヴ広場へ。隣接する古い港町、ニューハウ（デンマーク語で「新しい港」）に寄ると、その裏側にあるのが王宮アマリエンボー。マーガレット女王のご一家の居城の一つです。衛兵交代もあるのですが、私は王宮をそのまま抜けて、外国大使館の並ぶアマリエンボーから、ランゲリニエの海岸に到着。そこには、アンデルセン童話の「人魚姫」の像が海辺の岩の上に寂しそうな目をして座っておりました。

例会時刻が迫ってきたので、約4時間に及ぶ散歩を切り上げ、例会場のあるプレズ通を急ぐと、左手に高い門構えのある建物が見えてきました。アマリエンボー王宮の真後ろにあるコペンハーゲンRCの例会場「オッド・フェロウ・パレエット」でした。もともとは裕福な個人の邸宅でしたが、現在は社交場になっているようです。入り口は例会開始時間15分前まで鍵がかかったままでした。入り口辺りに集まっている人たちがロータリアンだと判断して話しかけると、案の定、皆さんロータリアンでした。女性会員の姿を沢山見かけました。ドアが開き、入場です。たくさんのロータリアンが集まってきました。みな私と顔を合わすと、ようこそと握手を求めてきました。シャンデリアのある豪華な内装の建物の3階が例会場でした。入り口では食事代は徴収していませんでしたが、私は払うのが当たり前でしょうと食事代を払いました。さすが伝統のあるコペンハーゲン・ロータリークラブです。広い例会場なのですが、ロータリアンの数の多さに驚きました。200名近くの出席者だったと思います。この国を動かしている人たちばかりなのでしょうか。雰囲気は全く違った気がします。身長が190センチ以上の方がざらにいた気がしました。デンマーク人の平均身長は185センチなのですが、ここではさらに背の高い人たちがいました。私の席の隣に座ったカーステン・ニールセン氏は、2006年コペンハーゲン国際大会の実行委員長でした。日本に仕事で住んでおられたことがあり、とても親切にしてくださいました。ただ、例会の食事には驚かされました。ビュッフェスタイル（バイキングスタイル）でしたが、さまざまな料理が楽しめて、豪華そのものでした。日本ではありえないと思いますが、昼間なのに飲み物は赤・白ワイン、ビール、ソフトドリンクを好みに合わせていただけました。お代わりをしている人が何人もいた気がします。デザートはチョコレートケーキとコーヒー。久々に本物のチョコレートケーキをいただきました。それにしてもデンマーク人の食欲は中途半端ではないです。お酒もとても強いです。太刀打ちできません。

例会が始まりました。勿論、司会進行は全てメンゲル会長一人でおこなっておりました。点鐘に続く

て、ロータリーソングではなくデンマークの歌集からの歌でした。分厚い歌集の指定されたページを開くと、童話作家アンデルセン作詞の「デンマークに生まれて」でした。何度も何度も聴いた歌なので、一緒にデンマーク語で唱和させていただきました。ゲスト紹介のあと、ビジター紹介。海外からの私を含めて4~5人おりました。こちらと同じく2名の会員卓話。そのあとバナー交換でしたが、日本から持っていった寿司のピンバッジは、ここでも受けておりました。この日のゲスト卓話は元法務大臣・現コペンハーゲン市長候補(当時)フランク・イエセン氏でした。

いつもよりも出席会員数が多かった理由は、イエセン氏の話の面白さのためでした。若者たちの暴力行為など、コペン



フランク・イエセン氏(ゲスト)とメンゲル会長(コペンハーゲンRC)

ハーゲン市の抱える問題点と、その解決策として若者たちへの教育の充実。コペンハーゲン市は、海峡トンネルでスウェーデンと繋がっているため、スウェーデン南部のイエーテボリ市からマルメ市、そしてデンマークのコペンハーゲン市を一体化した協力体制等など。大変興味深く拝聴させていただきました。後で知ったところではイエセン氏は市長に当選したそうです。

翌日はフン島にあるオーデンセ市のRC訪問でした。奇しくもオーデンセ市はアンデルセンの生家がある町です。以前はコペンハーゲンから列車に乗り、コルセール市でフェリーに乗り換え、フン島に渡り、また列車でオーデンセ市へ移動と5~6時間はかかる旅でした。今は海底トンネルで結ばれており、快速列車で1時間少々で着いてしまいました。本当に近くなりました。オーデンセ駅には10時頃着いたので、時間つぶしの為に、駅のカフェテリアで、デーニッシュペストリーとコーヒーをいただきました。安い！コペンハーゲンの半額近い価格でした。目的のオーデンセ・オスター RC (ベント・ヨーエンセン会長)の例会場は駅から離れた場所だったので、タクシーで移動。着いた場所は港を見下ろす場所に立つ、お洒落なクラブでした。こちら出席会員は30名強でした。昼食は受益者負担制度でした。飲み物の種類によって価格も若干違っているのが面白かったです。当然、ビールも出ておりました。食事はデンマークの家庭料理でした。美味しかった。それにしても、デンマーク人は食べます。皆、お代わりをしておりました。同じテーブルに座っていたリーナ・ピーターセンさん(女性会員・絵画作家)の娘さんが、「大阪に留学をしていた」と教えてくれました。点鐘のあと、こちらロータリーソングの代わりにデンマークの歌。会長さんが司会進行をしておりました。「5分ほどの卓話をしてください」と頼まれ、前半はデンマーク語、後半は英語で、訪問の趣旨と2500地区の概略についてお話をさせていただきました。日本から持っていった日本酒は、ここでも会員の皆さんとの距離を一気に縮めてくれました。バナー交換と同時に

土産のピンバッジを会長さんに渡しました。今回はお相撲さん。受けておりました。ゲスト卓話はポール・イエセン氏(不動産業)のオーデンセにおけるサッカークラブの設立についてでした。ちょっと田舎なので、人柄も親切でした。ヨーエンセン会長は、折角オーデンセに来たのだからと言って、童話作家アンデルセンの生家に車で送ってくれました。生家は博物館になっていました。この石畳に建つ小さな家で生まれ育ったから、アンデルセンの童話が生まれたのだと実感しました。



アンデルセンの生家

翌日は、ハムレットの舞台となったクロンボルク城のある、ヘルシンガー市へ向かいました。お城が目的地ではなく、その町にある社会人のための国民学校(フォルケ・ホイスコール) Den Internationale Højskole の訪問でした。全寮制の社会人学校で、学校内の公用語は英語でした。世界中から100名近い社会人、学生がそちらで学んでおりました。日本人の姿もちらほら見かけました。デンマークは社会人教育が充実しております。もっと知識を深めたい社会人はデンマーク全土にある様々な国民学校で学ぶことが出来ます。

あっという間に滞在期間が過ぎてしまいました。次年度の短期交換の打ち合わせは、やはり顔を突き合わせておこなうのが一番だと実感いたしました。交換留学というと北米に目が行ってしまいますが、歴史と文化の奥深いヨーロッパも選択肢の一つです。小国ばかりですが、モルドバ共和国との交換を含めて、デンマーク。実現したいと強く思っております。

閉会宣言
点鐘

若林 剛SAA
深澤知博会長

お知らせ

3月はRI指定の「識字率向上月間」です。

理事会

- ・3月のロータリーレートは、1ドル=90円です。

SAA

- ・3月の粗食例会は、18日を予定しています。

次週プログラム予定

3月11日(木) 長期計画特別委員会

「私の携わった、長期プロジェクトの体験談」

小室陸雄会員